

セミナー通信

教育実習総合センター

★教採情報(兵庫県)

26年度の教員採用試験実施要項が発表され、今年の一試験の一般教養に新しく「教職教養」が導入されることになった。今年、「教育法規」を確実にマスターする必要があら

また、人権教育資料「ほほえみ」が新たに発刊された。ホームページに掲載されるので、毎年発行の「指導の重点」と共に是非早めに一読しておきたい。

★教採情報(京都市)

京都市は、例年教員を希望する者を対象にメールマガジン「HEART」を月2〜3回発行している。この題目のハートにはそれぞれの頭文字に「目指す教員像」の意味がこめられており、記憶しておきたい。

(HEART)

- 「H」=Health
心身共に健康で豊かな人間性を育むことのできる先生
- 「E」=Expert
専門的力を有し、基礎基本の徹底ができる先生
- 「A」=Action
実践力があり、多様な経験を持ち、社会の変化に対応できる先生
- 「R」=Responsibility
責任感が強く、熱意を持って個性を生かす教育を推進できる先生
- 「T」=Teamwork
組織的計画的に学力の充実・向上を図ることのできる先生

★教採情報(大阪市)

大阪府は、「学力低下」や「非行率の高さ」等を背景に、本年度から全小中学校で土曜授業が復活される。一般教養学習のほか、外国語活動や防災教育など、社会人講師招聘の授業が行われる予定である。

他の都道府県でも同様の動きが予想される。

★教採情報(岡山市)

本年1月、「岡山市ビジョン」や「岡山つ子育成条例」心豊かな岡まつ子育成プラン」などを統合して、「岡山市教育振興基本計画」が策定された。

この計画は、平成32年までの8年間を見越した教育行政の中長期的基本的な方向性となる。

前期セミナー

時間割	
(P1)	月曜日 3限
	水曜日 3限
(P2)	月曜日 2限
	金曜日 1・2限
(P3)	月曜日 4限
	水曜日 1・2限

★いじめ防止情報(滋賀・東京・兵庫)

大津市のいじめ自殺事件を受け、本年度から滋賀県内の全中学校で35人学級が実施される。(中1生は、平成15年度より既に実施済)

これにより、教員と児童生徒が向き合う時間確保ができ、いじめ防止などにつながる期待されている。

また、東京都は本年度より全中1生を対象に35人学級が実施される。なお、兵庫県は昨年の7月に「いじめ問題に対する対応の徹底について」の通知が出されたのに続き、本年3月に「いじめ対応マニュアル」の改訂版が発刊された。その概要は次のとおりであり、詳しくは県教委ホームページで紹介されている。

〈いじめ対応マニュアル〉

- 第1部 教職員マニュアル
 - I いじめ問題に関する基本的な考え方
 - II 未然防止
 - III 早期発見 (7項目)
 - IV 早期対応 (4項目)
 - V ネット上のいじめの対応
 - 第2部 組織対応マニュアル
 - I いじめ問題に取り組む体制の整備
 - II いじめが起こった場合の組織的対応の流れ
 - III 教育委員会、警察、地域等の関係機関との連携
 - IV 教職員の研修の充実
- 兵庫県教育委員会—

★メルマガ情報(大阪府・堺市・東京)

大阪府も、教員志望者を対象に「おおさか教志通信」を、堺市は「堺、教師ゆめ塾(未来をつくる)」を発刊している。受験希望者は各教育委員会のホームページに掲載のメールアドレスにアクセスして、早速登録することをお勧めする。

なお東京都は「東京の先生になるう」を刊行しているが、こちらは登録なくパソコンや携帯からアクセスできる。

▲1次対策(教育法規)

他府県で実施されていた教職教養が兵庫県でも出題されることになった。これを受け、センター主催の教育実践セミナー(前期)において、現場経験に基づいた「教育関係法規の実際」を設定した。

▲2次対策(場面指導)

個人面接の「圧迫面接」という言葉をご存知だろうか。教師という仕

◆セミナー特別講演(案内)

「今、なぜ挨拶・清掃なのか」
—新任教員に期待すること—



【参加対象】
小学校教員特別養成コース
他コースのストリート院生

(講師) 渡辺公二先生
現 日体大陸上部強化委員長
元 西脇工業高校陸上部監督
とき 平成25年4月24日(水)9:00~10:30
ところ 自然、生活・健康棟116号室

事は、いわゆるモンスター等の対応も必要になるため、敢えて受験者を見ようとする面接である。

〈事例〉

- ①「君は教師にむいていないのと違うかね？」
- ②「そんなやり方は、誰だって思いつく。もっと違うやり方はないの？」
- ③「その方法で通用すると思うの？君の考え方は甘いのでは？」
- ④「せっかく体験したのに、学んだことはその程度ですか？」
- ⑤「不採用になったらどうしますか？」

【昨年度出題の多かった場面指導の例】

- ・学習を苦手とする子どもへの対応
- ・発達障害など特別な支援が必要な子どもへの対応

「何事にも動じることなく、度胸や腹が据わっているか」とか、「苦しい状況を乗り切って、栄光を勝ち取るうとする気迫や執念があるか」を問う個人面接だから、どんな意地悪な質問をされてもカッカせず、パニックにならないことが肝要。

本年度の教採推薦者募集

26年度教員採用試験に係る大学の推薦の募集が発表された。教職大学院生が応募

小学校課程の部
(大阪府)
推薦可能2人
(神奈川県)
推薦人数設けず
(川崎市)
推薦可能1人
(相模原市)
推薦人数設けず

春休み情報

3月に入り、P2生、P3生から「面接練習をしたいので指導して欲しい」旨の要望が相次いだ。教採合格者による「励ましのメッセージ」や修了生の姿勢が大きく影響しているようだ。

▼偶然、多くのP3生が院生控室を熱心に掃除している姿に出くわした。「これも実習で培った力です」と爽やかな言葉が返ってきた。

意見・要望を募集

本年度から、教採や実習等に役立つ教育情報を、原則月1回発刊予定。センターと皆さんで創る双方向性紙面にするため、広く意見を募集。

森 浩三 先生 連携協力校 担当地区 (三木市) (三田市) (篠山市)	服部公一 先生 連携協力校 担当地区 (加西市) (多可町) (小野市)
船越哲也 先生 連携協力校 担当地区 (西脇市) (加東市) (稲美町)	大林英夫 先生 連携協力校 担当地区 (神戸市) (尼崎市) (西宮市) (伊丹市)
コーディネーター 5人体制	田中美世子 先生 連携協力校 担当地区 (明石市) (高砂市) (加古川市)